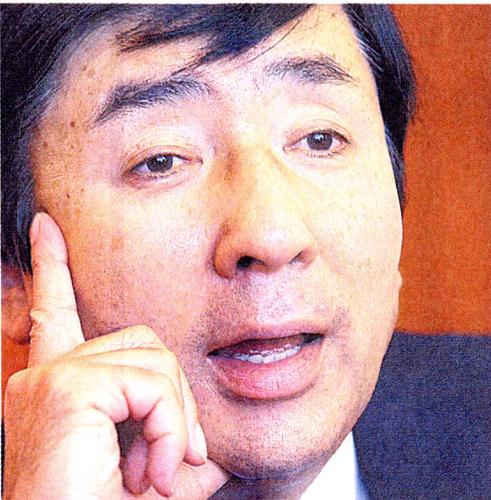


豊富な「情報」で国際情勢を読み解く 手嶋龍一さん(57)



「父は北海道の中小炭鉱を経営していた。経済成長とともに炭鉱は衰退し、右肩上がりの経済成長が僕にはどうもピンとこないのでです」

受験戦争にまぎれずに北海道の公立高校でおおらかに過ごした。当時、東京の高校に進学するという選択もあったが、北海道の方がはるかに変化に富んでいた。その決断は正解でしたね」

さらに教科書で語られる戦後民主主義にもクールな目を注いてきた。

「父は昔かたきの炭鉱主で、戦後、生活が困窮していた皇族に石炭を送る一方、坑内作業員をとても大事にした。破防法

僕には田嶋世代の共通体験がないんですね

てしま・りゅういち 1949年北海道芦別市生まれ。NHKの政治部などを経てワシントン支局長を務めた後、外交ジャーナリスト、作家として活動。早大客員教授。著書に「ウルトラ・ダラー」など。

（ハ慶応大学経済学部に進学。70年と71年、文化大革命のさなかの中国へ）
「偶然、友人が中国旅行参加者募集のチラシを持っていましたので、2回目の71年夏、故周恩来首相と一緒に会談し、そのときの通訳が先日、中国代表として北朝鮮に行った唐家璇さん（現国務委員）でしたよ」

適用の第1号、三無事件といわれるクーケーデーター未遂事件の関係者も父の元に逃げてきたようです。一方で、最左派の炭鉱労組幹部も父から資金をもらい、喜んでいた

世界が舞台でも最後に帰るのは友だちがいる北海道

上 「時代の裏相を見抜く知性こそ大切」と語る手嶋さん

自らの目や耳で確かめたことしか語らない=大阪市内で17日、いざれも山田耕司写す

イープイン
パクトを生
んだノーザ
ンファーム
代表、吉田
勝巳氏とは
30年來の友
人で、手嶋

さんは仕事場を東京・六本木と北海道のノーザンファームの一角に置いている。福岡の炭鉱主一族の麻生太郎外相とは、京都で古いなじみの「お茶屋さん」が同じだそうだ。北海道と九州と離れた2人が京都の花街でつながっているのもおもしろい。

来月出る「ライオンと蜘蛛の巣」(幻冬舎)は、世界各地を舞台にした小説のようなノンフィクションで、楽しみだ。
(論説委員兼編集委員)

A man in a dark suit and tie stands behind a podium, speaking into a microphone. He has short, dark hair and is looking towards the audience. The podium has a nameplate that reads "Hilton". In the background, there are large floral arrangements.

△87～91年、ワシントン特派員に△
が皇太子妃に小和田雅子

多くのファンが
が、昨年6月にさ
離れた。「もとより
の中になじめない

る解説に
かできた
NHKを
もと組織
い。早く

通じて

ちぢみと口、手
事作
が起き、右翼の児玉謙士
夫氏だったら手嶋が知っ
ているじゃないかと言わ
れ、社会部に応援に行き

9・11米同時多発テロの際、ワシントンから24時間連続中継を11日間にわたって担当。独特的の柔

れが
つては

結果で人は命令され
いてはたまらないと思つ
たのです。自由にあるま
つてはいるうちに、組織の
あぶれ者になりました。

勝ち上がった世界各場の有
力者とのつながりが一挙
にできました

的なかつた

治吾に利り 外交 安全
保障を専門に▽

「田舎の絵本の話で、
服がないのですよ。」

日本に報の機に盛り

英語EBCは難とする
主人公のスパイ小説をた
またま読み、軽い気持ち
でNHKを受けました」
△74年、NHKへ。室
蘭、横浜放送局を経て政

が、それは手嶋さん的情况だつた。「記者クラブ制度は僕の性にあわない」と報道協定を破つたのです。ジャーナリズム

ジエを重

から自由の身にしてほしいと頼んでいましたよ」
△NHK元職員の妻と
2人暮らし▽

池田知隆の
「団塊」探見